

事業所名

やまと

支援プログラム（参考様式）

作成日

6 年

8 月

20 日

事業所理念

大人になってもよりよく過ごせるように、事業所のサービスもとに成長を促進をしていく。

支援方針

成長に応じて寄り添い大人に向けたサービスを行う。
個別、集団とニーズを中心とした支援プログラムを提供する。
子ども達が楽しい、保護者がワクワクする活動プログラムを実施する。

営業時間

10 時

0 分から

19 時

0 分まで

送迎実施の有無

あり

なし

支 援 内 容

本人支援

健康・生活

ご家庭と共同で情報の共有を行い、食事、排泄、衣類の着脱と身の回りの事ができるように練習を行う。
家庭外での過ごし方について屋外体験活動を行い、経験値の蓄積を行う。（外食、公共交通機関、買物体験、屋外施設の利用方法を学ぶなど）
女性の発達における、身のまわりの整理について女性スタッフを中心に保護者との相談をしながらサポートを行い、自立へ向け促進する。

運動・感覚

屋内外によるルールのある遊び（レクリエーション）公園遊びや階段登り、ウォーキング、プールなど
調理活動、工作活動、手指機能訓練などツールなどを使用した視覚、聴覚、触覚を活用した発達を促進します。

認知・行動

各スケジュールの確認、集団行動を中心にルールについて把握や予測にむけての準備を学ぶ。（イラスト、写真を用いて）
他者の声かけによる反応が出来るようになる。声掛けなどの誘導による行動の理解（身辺整理、使用物の片付け、集団活動時での移動など）

言語
コミュニケーション

対人コミュニケーションスキルを机上活動の他に集団活動、余暇活動を通じて大人、子供同士との関わりを学ぶ。
特に屋外活動体験において困りごとなどの対処方法のなど、言語化出来るように準備体験、実行体験を交互に行い楽しく学べるようにする。
保護者協力型プログラム（子供と協力しながら準備をする練習）

人間関係
社会性

挨拶やルールの理解、マナーなど、コミュニケーション能力の促進を行いソーシャルスキルの上達を促進させ自信に繋げていく。
一定のやりとりがステップアップし躓きがあった際には、個別にて振り返りを行いながら次の行動についての対策を子どもと共に計画する。
集団行動のスキルアップや個々の得意な物を中心とした大人へ向けての技能の発掘などを行い、年齢と共に社会参加できるようにする。

家族支援

悩み、困りごとなど子供の成長に対して共に寄り添います。
協力しながら、ご自宅・事業所でできることをともに実践しお子様の成長へむけて全力にサポートをします。

移行支援

それぞれのライフステージにむけて保護者の同意のもと、必要に応じて他機関への情報の提供と共有をする。

地域支援・地域連携

各種会議、研修には参加を行い情報交換をおこない支援へ反映をしていく。
地域の資源を基に、屋外活動を行い利用児と地域の方が関われるように取り組みをしている。

職員の質の向上

外部研修の参加の他に、事業所内部で研修会や情報交換会を積極的に行う。定期的に職員との面談を行い、個々の能力の引き上げに努めている。

主な行事等

長期休暇活動（春休み、夏休み、冬休み）、流しそーめん大会、やまと修学旅行、クリスマスイベント（welcome to santa）、初詣、避難訓練、スポーツ大会、調理活動、芋ほり
※前年度に遠出した箇所振り返りの為、行くこともあります。